

付属規則E:ハンディキャップナンバーの割り当て (ハンディキャップストロークインデックス)

ゴルフ規則は次のように定めている：「委員会はスコアカードやどこか別の目につく場所（例えば、最初のティーの近く）でハンディキャップストロークを与えたり、受けるホールの順番を公表する責任がある。」（ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5I(4) 参照）

ハンディキャップナンバーの割り当ては、18ホールを3ホール毎の6つのブロックに分け、各ホールの対パー難易度の順番を割り振ることを推奨する。各ホールの難易度は、コースレーティング査定を通して得られたホール・バイ・ホールのデータを使用して、客観的に決定することができる。算出方法は以下の通り：

$$\text{スクラッチ査定値} + \text{ボギー査定値} - (2 \times \text{パー})$$

例えば、パー4ホールで、スクラッチ査定値4.2、ボギー査定値5.3の場合：

$$4.2 + 5.3 - (2 \times 4) = 1.5 \text{ オーバーパー}$$

ストロークプレーとマッチプレーの両方に対応するために設計された、3ホール毎の6つのブロックに分けてハンディキャップナンバーを割り当てる推奨方法は、以下に示した通り：

- フロントナインに奇数ナンバー、バックナインに偶数ナンバーを割り当てる。但し、コースレーティングの数値によりバックナインがフロントナインに比べて著しく難しい場合は、偶数ナンバーをフロントナイン、奇数ナンバーをバックナインに割り当てることができる。
- マッチが終了する前に、プレーヤーが受けることのできるハンディキャップストロークの多くを使う機会を得られるようにするために、18ホール全体で均等にハンディキャップナンバーを配分する。
- 最も小さいハンディキャップナンバー（1または2）は、各9ホールの真ん中のブロックに割り当てる。対パー難易度が最も低い6ホールが真ん中のブロックにない場合、それを1番目のブロックの最後のホール、または3番目のブロックの最初のホールに割り当てることできる。

- 2番目に小さいハンディキャップナンバー（3または4）は、各9ホールの1番目または3番目のブロックに割り当てる。但し、最も小さいハンディキャップナンバーのホールが同じブロックにある場合を除く。
- 可能であれば、連続するホールに小さいハンディキャップナンバー（6以下）を割り当てないようにする。
- プレーヤーが18打を超えるハンディキャップストロークを受取る場合は、ハンディキャップナンバー1を、19、37、および55に置き換え、同じハンディキャップナンバーの順番を使用して順次割り当てる。

これらの推奨手順は、ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5I(4)に従ったものである。

9ホールプレーの場合の、ハンディキャップナンバーの割り当て

18ホールのゴルフコースで行われる9ホールのプレー形式では、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番（昇順）でハンディキャップストロークを受取る。また別の方法として、ハンディキャップ委員会は、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番に従って、ハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更することを検討できる。

プラスハンディキャップのプレーヤーの場合は、その9ホールに割り当てられた最も大きいハンディキャップナンバーのホールからハンディキャップストロークを与える。もしハンディキャップ委員会がハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更した場合は、ハンディキャップナンバー9のホールからハンディキャップストロークを与える。

ハンディキャップナンバーの割り当て例：

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
HDCP ナンバー	7	15	5	11	1	13	3	17	9	8	16	6	12	2	14	4	18	10

委員会が、18ホールのハンディキャップナンバー割り当てを9ホール用に変更した場合の例：

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
HDCPナンバー	4	8	3	6	1	7	2	9	5